

岩手出身、鳥羽在住の祭り好き  
式年遷宮がきっかけで移住を決心



**菅村 信俊さん(41)**  
岩手県出身。岩手の大学を卒業し、就職で三重県の玉城町に移り住む。その後、おはらい町の「二光堂」に調理スタッフとして転職。結婚を機に妻の実家のある鳥羽市へ移住。

生まれ ▶ 岩手 学校 ▶ 岩手 仕事 ▶ 玉城 仕事 ▶ 伊勢



松阪牛のステーキ牛丼はみ出んばかりの大きなお肉が特長!



朝の仕込み時に、ステーキ丼に使う松阪牛をさばきます



カツオを切る柳包丁と野菜を切る薄刃包丁は名古屋で買いました

岩手から初の三重  
伊勢の祭事に魅了される

岩手から三重に来たきっかけは何ですか?

「最初の就職先でこのエリアに配属されたことがきっかけですね。当然、最初は知り合いもいないため、職場の先輩が誘ってくれて、休日は祭りの集まりに参加するようになって。ちょうど式年遷宮を控えて特別な祭事が行われる年でもあり、なんか面白そうだなと。気づけば伊勢にハマっていました(笑)」



1日2回の休憩。お弁当を食べたり、同僚とお茶を飲んで過ごします

青年団の縁あって  
賑わいのある場所に転職

配属先の三重で転職するのも珍しいパターンですね?

「ゆくゆくは岩手に帰る可能性もあったのですが、青年団で一緒に二光堂の社長とのご縁が大きいんです。この伊勢に留まりたい気持ちも高まっていたんです」

この地域の魅力はどこにあると思いますか?

「伊勢神宮の存在は大きいと思いますが、数多くの伝統や祭りが地域に根付いているところが一番の魅力。私も地元の祭りに関わって幅広い年代の方と知り合うことができました。四季を通じて祭りがあり、私のようにIターン移住して日が浅くても地域に溶け込みやすいおらかな雰囲気を感じます。こうした地域の醸し出す人柄にぜひ一度触れてみてほしいですね」

菅村さんの  
鳥羽ライフ



迫力満点! 鳥羽が誇る祭りですよ

とにかく祭り好き  
鳥羽春祭にも参加!

昨年の鳥羽春祭で天狗の舞にも挑戦できたことは良い思い出です



伊勢市にある猿田彦神社の「みちひらき大神輿」にも携わりました

伊勢だけでなく鳥羽の祭りも満喫! 毎年4月に行われる鳥羽春祭にも携わっています。間近で見る獅子と天狗の舞は圧巻です。若手が減ってきていますが、伝統行事を守っていきたいですね。

自宅のある赤崎地区の  
奉仕活動にも積極的



いつも祭りで頭いっぱいです

盆踊りのとき、檜の上で音頭を歌いました  
義姉が町おこしの拠点として保存会に参加している「鳥羽大庄屋かどや」

赤崎地区は庄屋ギャラリー「鳥羽大庄屋かどや」を中心に趣ある町並みが残り、「鳥羽なかまち」として町づくりが盛ん。地域の盆踊りや除夜の鐘つきを運営する青年活動組織に携わったことで、地域にも馴染めました。

鳥羽の名所「ミキモト真珠島」や坂手島も望めます



高台から見下ろす  
鳥羽湾の絶景が最高!

自宅の近くにある城山公園からは、晴れた日は鳥羽湾がキレイに見えます。美しい景色を眺めていると、心も癒されます。海の近くに住んでいる特権ですね。

私の運命を変えた  
式年遷宮のお木曳き



気づけば祭り好きに

前の会社を辞めて岩手に戻るつもりでしたが、お木曳きまで伊勢にしようと思い、帰る予定を延期。気がつけばこちらで再就職していました。伝統行事には人を惹きつける魅力がありますね。

休みの日は名古屋や桑名へ  
家族で遊びに行くことも

子どもの好きな名古屋の東山動物園やナガシマスパーランドへ。家族連れなのでマイカーがラクですね。  
●名古屋へのアクセス/車では伊勢二見鳥羽ラインと東名阪自動車道、伊勢自動車道を経由して約2時間

お財布事情

鳥羽市は中学生まで医療費が免除されるので、小さい子を持つ家族は子育てがしやすい地域だと思います。自分のお小遣いは、主に祭りの打ち上げなどの参加費や飲み代などの付き合いに使うくらいです。

たとえば、こんな

菅村さんの1週間

松阪牛のステーキ牛丼やてこね寿司の調理をしています。休日は子どもとの時間をしっかり満喫!



Monday 仕事

仕込みから盛り付けまでロテーションで担当。肉に火を通す焼き場もこなします。松阪牛の美味しさが引き立つよう、ミディアムに柔らかく焼き上げるために日々勉強中!



Tuesday 仕事

ランチタイムは店が忙しいため、自分の昼食は10時半からの休憩。妻が作ったお弁当を美味しくいただきます。

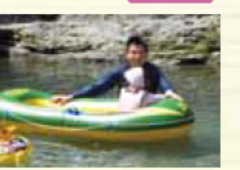
Wednesday 仕事

漬物の盛り付けは、仕込み時間中に100個ほどあらかじめ用意しておきます。新人スタッフが来たときには、効率的なやり方を教えることもありますよ。



Thursday 休み

休みの日は家族と妻の妹夫婦と遊びに行くことも。この夏は大台町で川遊びもしました。「イオンタウン伊勢ラパーク」の小さいメリーゴーラウンドもうちの子のお気に入りです。



Friday 仕事

ホール担当との連携を上手く取りつつ、お客様に料理を提供。私が接客をすることはないので、前職よりお客様との距離が近いので、やりがいを感じています。



Saturday 仕事

休憩時間におはらい町やおかげ横丁を散策して、新しいお店や人気の商品をチェック。岩手の実家に伊勢の銘菓を送ることもあります。

Sunday 仕事

松阪牛の牛丼が看板メニューですが、伊勢志摩の郷土料理「手こね寿司」も人気。毎朝カツオを仕込んでいます。

取材メモ

すっかり地域に馴染んでいる菅村さんが岩手出身だと聞いて驚きました。移住する人を虜にしてしまう、伊勢と鳥羽の魅力がよく伝わってくる取材でした。菅村さんのようにパワフルな若い世代が集まって、伊勢と鳥羽の伝統行事を守っていただきたいと思います。